

ユニバーサル公演「ヘレン・ケラー～ひびき合うものたち」が本校で初開催されます。

文化庁が実施している「学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業」の一つである「ユニバーサル公演」が本校で初めて実施されることになりました。

「東京演劇集団 ^{かぜ} 風」が「ヘレン・ケラー～ひびき合うものたち」を公演します。

障害のある児童生徒が主体的に芸術鑑賞・体験ができるよう、公演中は児童生徒が見たり聞いたりして感じとったものを、声に出したり体を動かしたり自由に表現してもよいことになっています。また、児童生徒と出演者が共演し、一緒に一つの場面を創り出す取組も行う予定です。

文化芸術に触れ、感じたことを自由に表現する児童生徒の姿を、ぜひ取材に来てください。

1 日時

令和7年9月16日（火） 9：20～12：00

2 場所

広島県立福山特別支援学校 体育館（広島県福山市津之郷町津野郷280-3）

3 内容

9：20～ ワークショップ（演劇の中で使用する楽器や小道具等に触ったり、指文字や手話等の練習をしたりします。

9：50～ 演劇前半

10：30～ 休憩

10：40～ 演劇後半

11：50～ カーテンコール

12：00～ 終了

4 参加者

児童生徒70名

5 学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業について

文化庁が実施している事業です。

子供たちの豊かな創造力・想像力や、思考力、コミュニケーション能力などを

養うとともに、将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造につなげることを目的としています。この事業のうち、ユニバーサル公演は、障害のある子供たちも主体的に芸術鑑賞・体験ができるように工夫されています。



【「東京演劇集団 風」による演劇案内】